

2022年度 決算概要

2023年5月10日

沖電気工業株式会社

2022年度 通期決算の概要

- 売上高、営業利益共弱含みながら概ね前回予想値で着地。
(営業利益は実質ベースではほぼ前年の水準を確保)
- 経常利益は費用の組替(約9億円：特損から営業外)により予想比悪化。
- 特別損失は構造改革費用など中心に前年比減。

(単位：億円)	22年度 実績	2/9 予想	予想比	21年度 実績	前年比
売上高	3,691	3,720	△29	3,521	+170
営業利益	24	30	△6	59	△35
経常利益	△3	5	△8	77	△80
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	△28	△30	+2	21	△49
USD平均レート (円)	135.5	136.2	△0.7	112.4	+23.1
EUR平均レート (円)	141.0	141.2	△0.2	130.6	+10.4

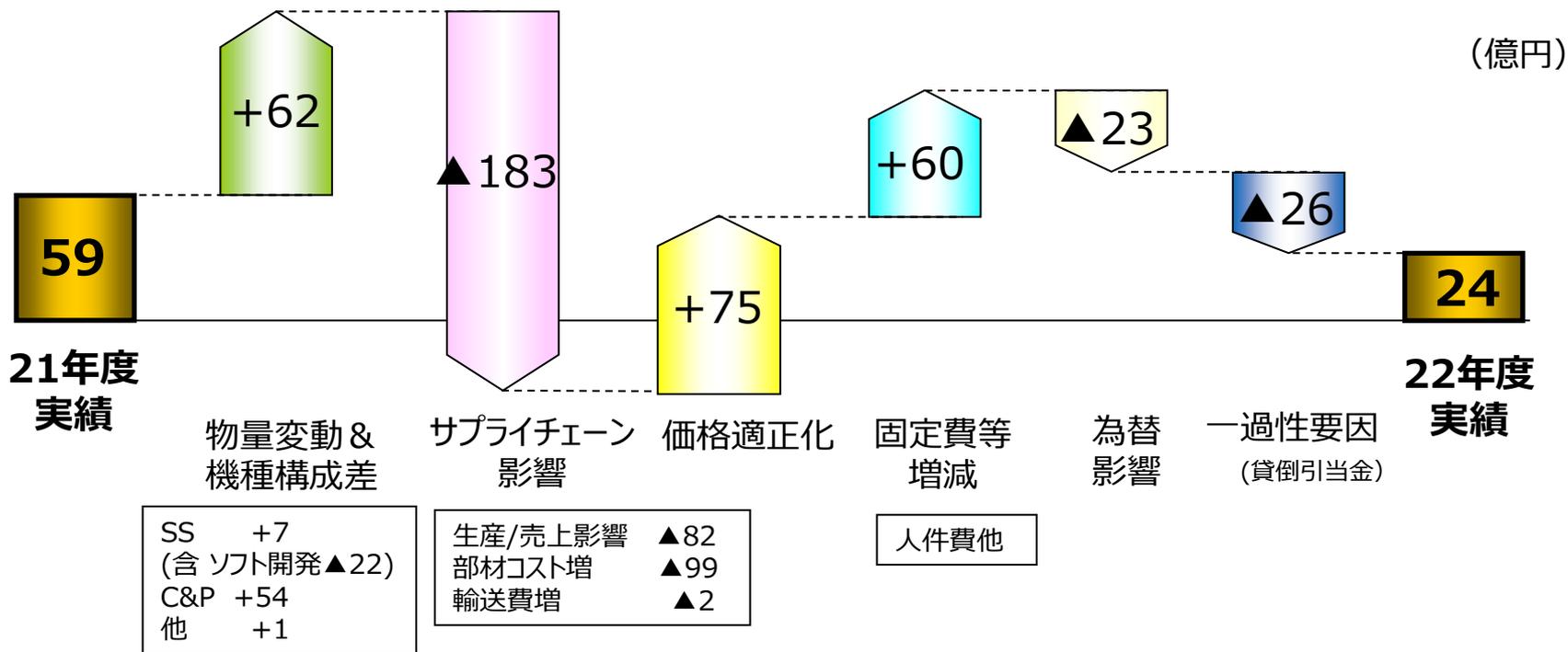
2022年度 通期セグメント別売上高/営業利益

(単位：億円)

売上高	22年度 実績	2/9 予想	予想比	21年度 実績	前年比
ソリューション	1,794	1,830	△36	1,626	+168
コンポーネント & プラットフォーム	1,892	1,890	+2	1,890	+2
その他	5	0	+5	4	+1
合計	3,691	3,720	△29	3,521	+170
営業利益	22年度 実績	2/9 予想	予想比	21年度 実績	前年比
ソリューション	85	95	△10	95	△10
コンポーネント & プラットフォーム	△1	0	△1	35	△36
その他	4	0	+4	3	+1
消去・本社費	△64	△65	+1	△75	+11
合計	24	30	△6	59	△35

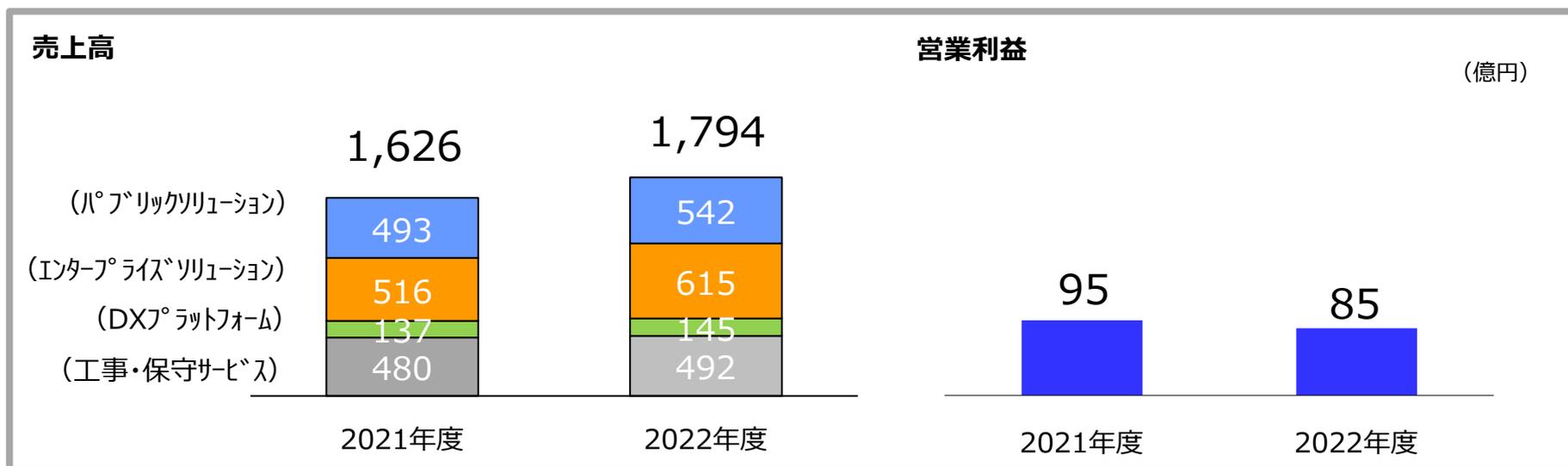
2022年度 営業利益の変動要因

- 前年からの案件を確実に取り込み物量増を実現。
- サプライチェーン影響による売上延伸、部材コスト増は通期で継続。
価格適正化により部材コスト増影響を抑制。
設計変更による代替部品対応などサプライチェーン対策により来期生産は回復見込。
- 構造改革、経費抑制により固定費は減少。
- 前年の一過性収益による反動減、為替影響はマイナス。



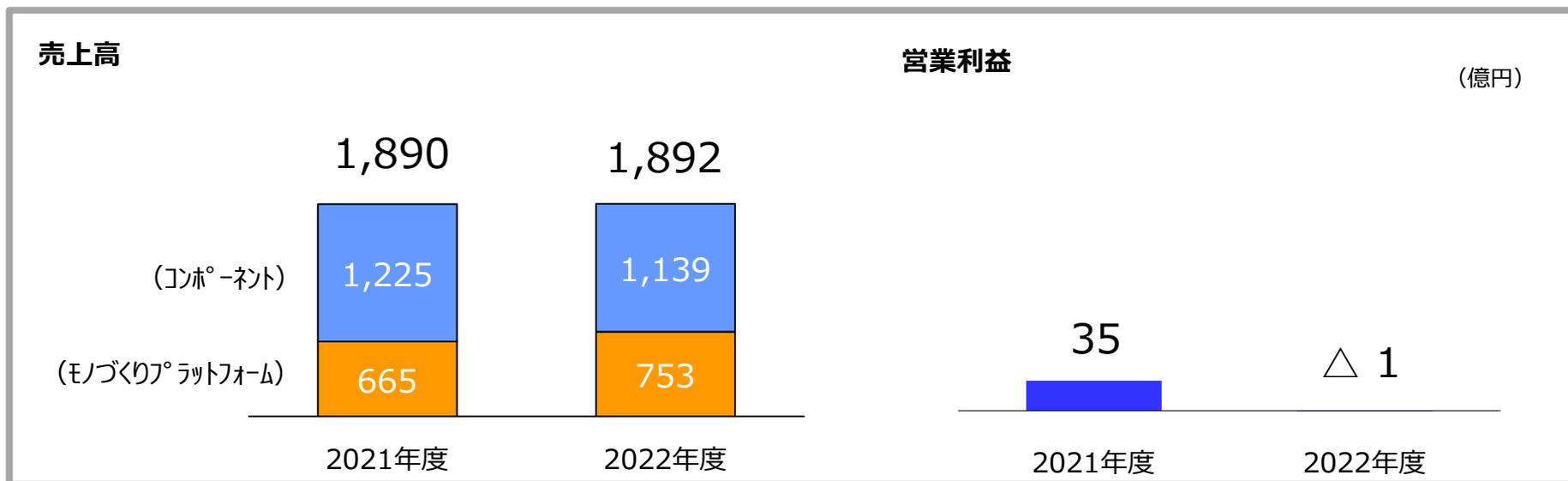
ソリューションシステム事業 概況

- 前年からの期ズレ案件の刈り取りのほか、取得した航機事業などによりすべての事業領域で前年比増収。
- 営業利益はエンタープライズのソフト開発案件のコスト増（前回予想内）など新規領域での採算性悪化および為替影響などもあり、前年比減益。
- DX領域の売上は404億円（前年同期 323億円）。ニーズや時期のアンマッチ、絞り込み不足により目標未達。



コンポーネント&プラットフォーム事業 概況

- モノづくりプラットフォームはFA／半導体製造装置向け売上の好調が続く。コンポーネントは自動機事業の半導体等部材不足による生産減により減収。情報機器事業の売上は為替影響もあり増収。
- 一過性要因および為替影響を除いて、営業利益は前年並み。自動機の売上減によるマイナスを好調なモノづくりプラットフォーム、価格適正化および情報機器の固定費減等でカバー。



2022年度 B/Sの概要

- サプライチェーン影響による棚卸増により借入金増加も棚卸は第3四半期末からは減少。第4四半期としては、棚卸 93億減、債権 138億増。
- 自己資本比率は3.7ポイント減少。

(単位：億円)	23年 3月	22年 3月	前年度末比
流動資産	2,302	2,118	+184
固定資産	1,602	1,573	+29
資産の部	3,904	3,692	+212
流動負債	2,053	1,580	+473
固定負債	859	1,036	▲177
負債の部	2,911	2,615	+296
自己資本	991	1,074	▲83
その他	2	2	±0
純資産	993	1,076	▲83
負債及び純資産合計	3,904	3,692	+212
自己資本比率(%)	25.4	29.1	△3.7
DELシオ(倍)	1.2	0.8	+0.4

2022年度 キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローはサプライチェーン影響による運転資本増により前年比悪化。

(単位：億円)	22年度 実績	21年度 実績	前年比
I 営業キャッシュフロー	△31	59	△90
II 投資キャッシュフロー	△176	△176	±0
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△207	△117	△90
III 財務キャッシュフロー	233	17	+216
現金および現金同等物の残高	375	334	+41
固定資産取得額	165	217	△52
減価償却費	123	126	△3

(補足) セグメント別売上高/営業利益 (四半期別推移)

(単位：億円)

売上高	21年度					22年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
ソリューションシステム	339	350	387	550	1,626	361	384	447	602	1,794
コンポーネント&プラットフォーム	459	448	478	505	1,890	419	461	491	521	1,892
その他	1	1	1	1	4	1	1	2	1	5
合計	799	799	866	1,057	3,521	781	847	938	1,125	3,691

営業利益	21年度					22年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
ソリューションシステム	△1	△1	17	80	95	△12	3	12	82	85
コンポーネント&プラットフォーム	△15	4	45	1	35	△8	1	△4	10	△1
その他	1	0	1	1	3	1	1	2	0	4
消去・本社費	△14	△17	△21	△23	△75	△11	△15	△17	△21	△64
合計	△29	△13	41	60	59	△30	△10	△8	72	24

2023年度 通期業績予想

- 前年比増収増益。
- 年間配当金は1株当たり30円を予定（前年から10円増）。

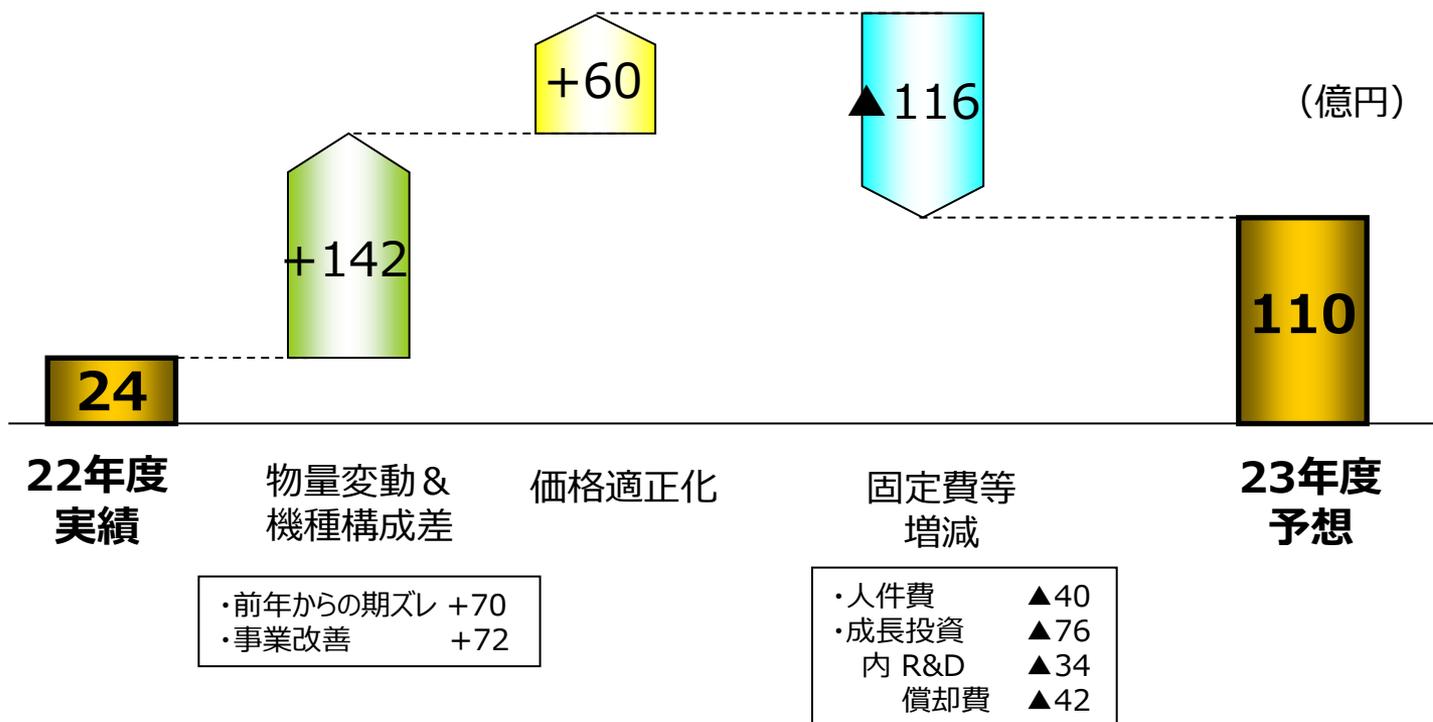
* 2023年4月1日付
事業セグメントの
区分変更に基づき
22年度実績は
組替えをしています。

(単位：億円)	23年度予想	22年度実績	前年差
パブリック売上高	980	957	+23
ソリューション営業利益	40	34	+6
エンタープライズ売上高	1,780	1,129	+651
ソリューション営業利益	115	15	+100
コンポーネント売上高	810	846	△36
プロダクツ営業利益	20	16	+4
EMS売上高	830	753	+77
EMS営業利益	25	23	+2
その他売上高	0	5	△5
その他営業利益	△15	4	△19
消去・本社費	△75	△68	△7
連結合計	4,400	3,691	+709
売上高	4,400	3,691	+709
営業利益	110	24	+86
経常利益	85	△3	+88
当期純利益	40	△28	+68

前提為替レート
USD : 130円
EUR : 140円

2023年度 営業利益の変動要因

- 部材調達影響による前年からの期ズレ分に加えて大型案件もあり、物量大幅増。
- 成長投資（人件費、設備投資、R&D）により固定費等増加。
人件費は人的資本と位置づけ、成長に向けた投資を実行。



(補足) 2023年度 投資およびキャッシュフロー

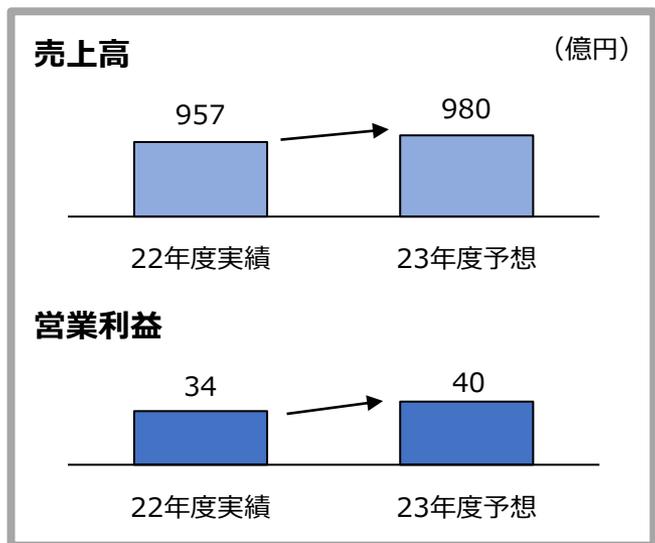
- 持続的成長のための必要投資は引き続き実施。

投資等 (単位：億円)	23年度 予想	22年度 実績	前年差
設備投資（有形＋無形）	240	187	+53
減価償却費（有形＋無形）	155	113	+42
研究開発投資	130	96	+34

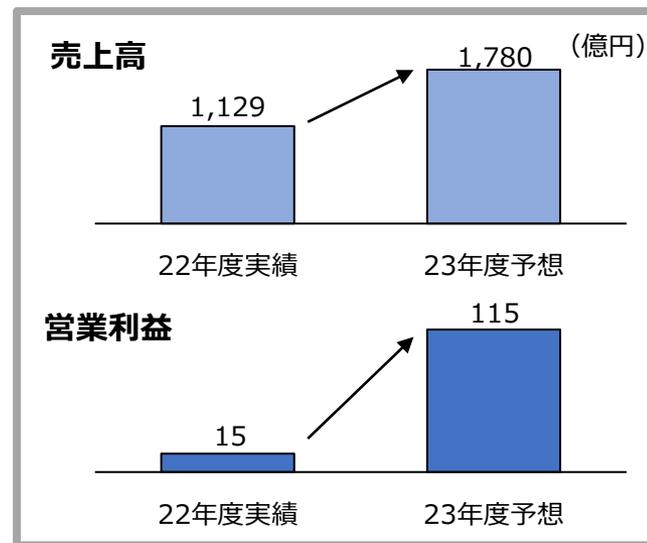
キャッシュフロー (単位：億円)	23年度 予想	22年度 実績	前年差
I 営業キャッシュフロー	280	△31	+311
II 投資キャッシュフロー	△240	△176	△64
フリー・キャッシュフロー(I + II)	40	△207	+247

(補足) 事業概況

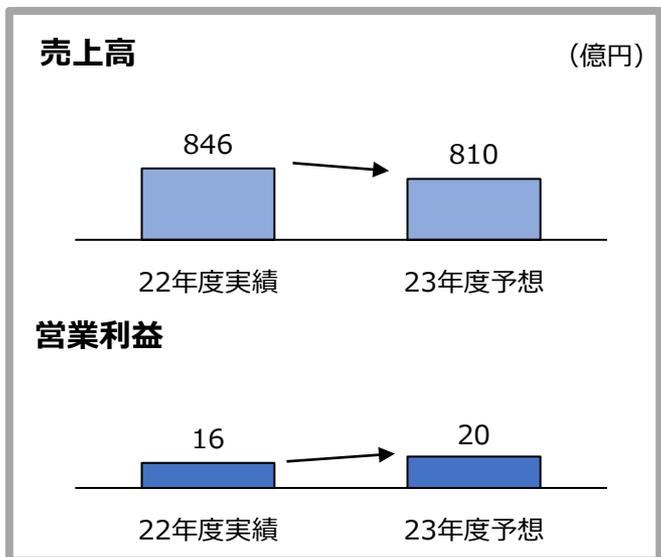
パブリックソリューション



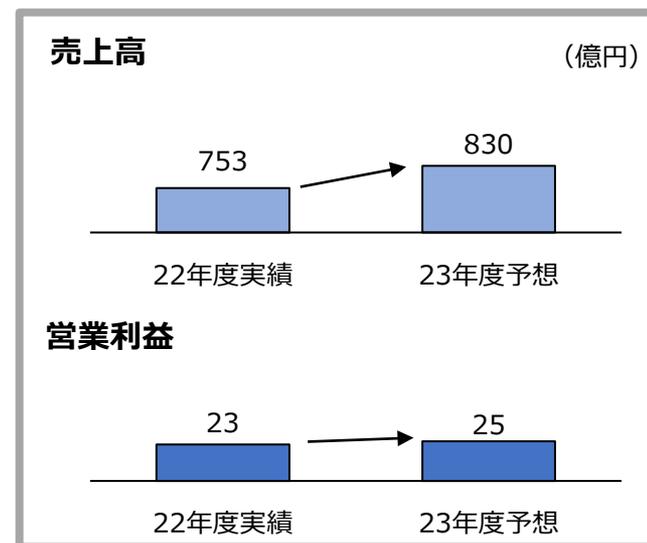
エンタープライズソリューション



コンポーネントプロダクツ



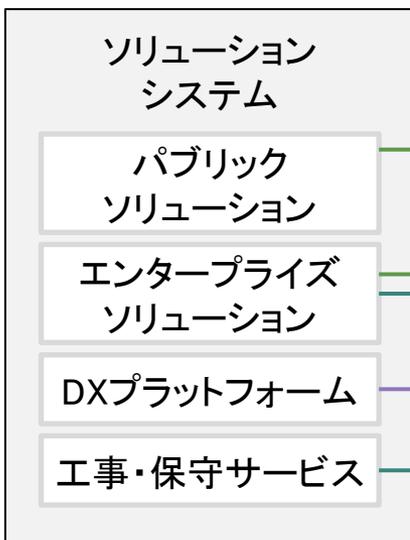
EMS



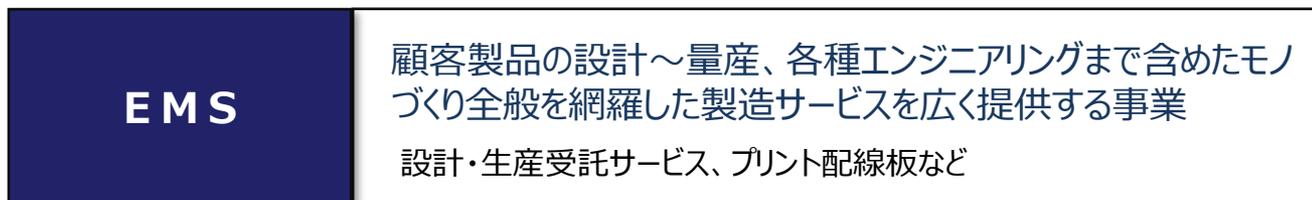
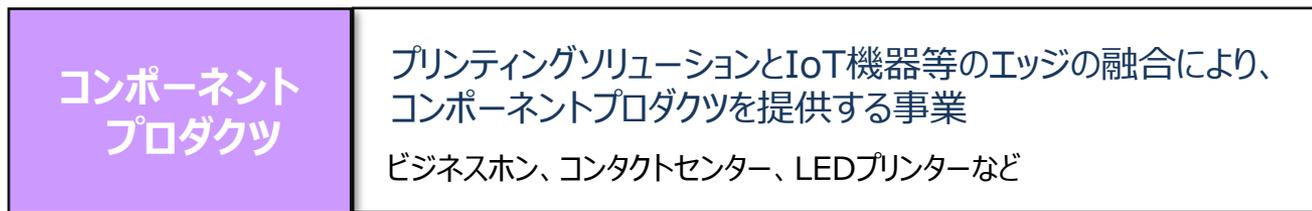
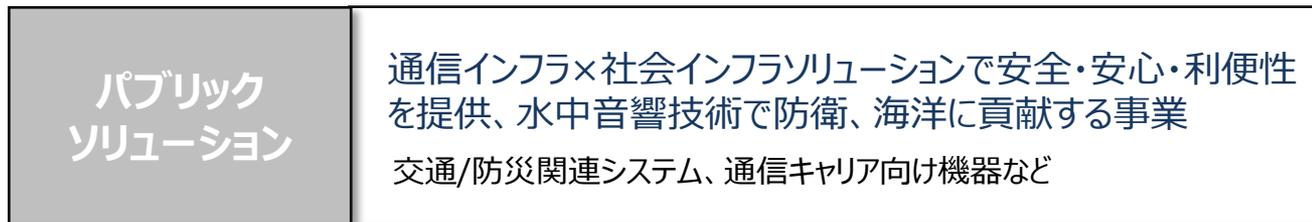
(補足) 開示セグメント変更について

■ 市場軸とバリューチェーンを意識したマネジメント体制に変更

~FY2022



FY2023~



(補足) 各セグメントの主な製品およびサービス

■ パブリックソリューション

- 道路（ETC/VICS）、航空管制、防災、消防
- 中央官庁業務システム、政府統計システム
- 防衛システム（水中音響/情報）
- 航空機器
- インフラモニタリング
- キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G

■ エンタープライズ

- ATM、現金処理機
- 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末
- ATM監視・運用サービス
- 金融営業店システム、事務集中システム
- 鉄道発券システム、空港チェックインシステム
- 製造システム（ERP/IoT）
- 工事・保守サービス

■ コンポーネントプロダクツ

- AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW
- PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター
- クラウドサービス
- LEDプリンター

■ EMS

- 設計・生産受託サービス
- プリント配線板

ご注意

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：
各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。